

## 令和5年6月28日開催定例美祢市教育委員会会議録

**開催日時** 令和5年6月28日（水）午後1時30分から午後2時30分

**開催場所** 美祢市役所3階「委員会室」

### 出席委員

南 順子	教育長
金子 明美	教育長職務代理者
山本 亜由美	教育委員
山田 裕治	教育委員
松本 孝志	教育委員

5人

### 欠席委員

なし

### 出席教育委員会事務局職員

千々松雅幸	事務局長
岡崎 輝義	〃 教育総務課長
中島 幹晃	〃 学校教育課長
神田 高宏	〃 文化財保護課長兼世界ジッパ ーク推進課長
大坪 伸彰	〃 学校教育課主幹
野尻登志枝	〃 生涯学習スポーツ推進課地域活 動推進班長
内山 知憲	〃 生涯学習スポーツ推進課人権教 育班長
倉増 裕	〃 教育総務課総務班長

8人

（午後1時30分）

### 開 会

**事務局長 千々松 雅幸**

みなさんこんにちは。

ただ今より、令和5年6月教育委員会会議を開催します。

これからの進行は教育長にお願いいたします。

### 教育長挨拶

**教育長 南 順子**

あらためましてみなさんこんにちは。

鬱陶しい梅雨空の下、華麗に咲く色とりどりの紫陽花に心和む今日この頃でございます。

本日は足元の悪い中、また、大変御多用の中、令和5年6月定例教育委員会議に、御出席をいただきましてありがとうございます。

初めにうれしいお知らせをしたいと思います。

既に新聞やテレビで報道されておりますので御存じの方も多いかと思いますが、二つの中学校の生徒による人命救助です。

御手元にプリントを置いておりますので、御覧になっていただけたらと思います。

はじめに美東中学校でございますが、今年の5月17日、美東中の3年生4名が修学旅行で訪れた京都市内を班別に自主研修していた際、道に迷って座り込んでいた高齢者に遭遇し、自分たちから声をかけ高齢者の体調を観察しつつ、水分補給をさせるなど親切に対応し、その受け答えから認知症の疑いがあると感じたため、警察へ通報しました。

おかげで高齢者の方は事件や事故に巻き込まれることもなく、また体調不良に陥ることもなく無事に警察の方が自宅まで送り届けられたとのことでした。

今、「警察に通報しました」と言いましたけれども、新聞によると、別の通行人の方に頼んで警察のほうに通報してもらったということで、警察が到着するまで手を握ってあげるなどしたそうです。

中学生の人を思いやる優しさ、とっさの的確な行動力また判断力に、心から拍手を送りたいと思います。

京都府南警察署長様から美東中の4名の生徒、そして、担任の先生に感謝状が届きました。

また、裏のほうを見ていただけたらと思いますが、昨年11月下旬には当時大嶺中学校の2年生、石田君という男の子でございますが、サイクリングから帰宅中、乗用車の横転事故に遭遇し、通りかかった男性と一緒に運転手の高齢男性を救出し、119番通報や現場に到着した救急車、パトカーを誘導しました。

事故の音を聞いて、これはすばらしい言葉と思うんですけども、「とっさに体が動いた」というこの石田君の勇気ある行動は、県の教育長表彰を2月に受けております。

このような中学生たちの相手を思いやる献身的なすばらしい行動力、優しさから生まれた勇気が、学校や地域へと広がり、お互いに認め合い、助け合い、支え合う心豊かな温かい学校生活、そして、地域社会の実現につながっていくよう、努めていきたいと考えております。

「人が育つ、ひとが輝く教育の美祿」が、まさに子供たちの姿で具現化出来

ておりますことを大変うれしく思います。

ぜひ今後とも一人一人の児童生徒が、かけがえのない命をいただいていることに感謝しながら、人として共によりよく生きることのすばらしさを、様々な教育活動体験活動を通して学び、人として当たり前のことを当たり前に行える、優しさと勇気、行動力を身につけていくことを願うとともに、そのために、私たち教育委員会としましてもいろいろな支援策を考えていきたいというふうに思っております。

## **署名委員の指名**

### **教育長 南 順子**

それでは次から着座にて進めさせていただきます。

署名委員を先に指名をさせていただきます。

本会議につきましては、金子委員と松本委員をお願いいたします。

## **<両名了承>**

## **前回会議録の承認**

前回会議録の承認につきましては、松本委員と山田委員をお願いいたします。御承認をいただけますでしょうか。

## **<両名了承>**

## **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

## **冒頭報告**

### **教育長 南 順子**

それでは4番目、教育長報告ということで行事関係について報告をさせていただきます。

5月29日、防府市富海小中学校、また6月1日に萩市立福栄小中学校の視察に行っていました。

本来なら教育委員の皆様方にも、是非お声かけをし、都合がつけば同行していただきたかったのですが、急遽決まり御都合があわせずに大変申し訳ございませんでした。

視察の報告につきましては後ほどさせていただきます。

6月10日に美祢市文化協会設立10周年記念式典、6月15日には、美東町文化

研究会創立50周年記念総会、ここには記載はございませんが6月24日には美祢華道協会10周年記念生け花展に出席させていただきました。

改めて美祢市民の皆様の文化に対する熱意や情熱、そして、その内容、質の高さに本当に感動いたしました。

これらの協会、協会研究会の皆様方が、今、中核となって美祢市の文化の発展や向上に多大な貢献をされていることに敬意を表しますとともに、ふるさと美祢に誇りと愛着を持ち、地域に貢献できる子供の育成を目指すためにも、これらの目には見えない貴重な財産を是非次の世代へつなげていかななくてはと痛感した次第でございます。

他の行事につきましては、後ほどの報告とダブりますので、各課の報告で述べさせていただけたらと思います。

### **教育長 南 順子**

それでは、その他ということでございますけれど、何か御質問とかございましたら伺いたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

それでは5番目の議案のほうに移らせていただきます。

## **報告**

### **教育長 南 順子**

初めに報告からお願いいたします。

報告第14号、美祢市学校医（耳鼻科医）の委嘱及び解嘱について、学校教育課お願いいたします。

はい、中島課長。

### **学校教育課 中島 幹晃**

はい、報告第14号、議案書は1ページになります。

美祢市学校医、自治会の委嘱及び解嘱についてでございます。

現在実施中の健康診断のうち、5月30日に実施いたしました秋吉小、秋芳桂花小、秋芳中の耳鼻科検診及び6月1日に実施いたしました、伊佐小、厚保小大嶺小、麦川小、豊田前小、伊佐中、厚保中の耳鼻科検診に際し、山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座から、5月25日に医師変更の連絡があったことに伴い委嘱及び解嘱することについて、美祢市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定により臨時に代理いたしましたので、同条第2項の規定により教育委員会に報告するものです。

なお、任用期間は在任期間の令和6年3月31日までとするものでございます。以上です。

### **教育長 南 順子**

はい、では報告第14号について質疑等があれば承りたいと思います。  
特にないようでしたら引き続き今度は議案の審議に移らせていただきます。

## **議題及び議事**

### **教育長 南 順子**

議案第40号、令和5年度美祢市教育委員会事務事業の点検及び評価の実施に関する方針について、教育委員会事務局お願いいたします。

はい、千々松局長。

### **教育委員会事務局長 千々松 雅幸**

議案第40号、令和5年度美祢市教育委員会事務事業の点検及び評価の実施に関する方針について説明をいたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、美祢市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うにあたり、令和5年度の実施方針を定めたいので、教育委員会の承認を求めるものであります。

なお、点検、評価の実施にあたっては、法の規定に基づき、教育に関し学識経験者を有する者の知見を図ることとし、10月に最終評価を取りまとめ、報告書を作成の上、教育委員会会議に議案として提出する予定としております。

その後、市議会への提出及びホームページで公表することとしています。

対象の評価事項については、教育委員会会議の開催状況を含めた教育委員会の活動状況や、教育振興基本計画実施計画に掲げる主な事業の実施状況及び成果などとなります。

これは、令和4年度に実施した事業に基づきまして評価を行いまして、その評価結果を基に令和6年度の事業計画や予算編成に反映させようというものであります。

説明については以上になります。

### **教育長 南 順子**

では議案第40号について質疑等があれば承りたいと思います。

はい、特にないようですので、議案第40号の質疑は終了させていただきます。  
お諮りいたします。

議案第40号、令和5年度美祢市教育委員会事務事業の点検及び評価の実施に関する方針について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は、挙手をお願いいたします。

## **<全委員挙手>**

**教育長 南 順子**

はい、ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

それでは引き続き議案第41号、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱について、生涯学習スポーツ推進課お願いいたします。

はい、野尻班長。

**生涯学習スポーツ推進課長地域活動推進班長 野尻 登志枝**

はい、美祢市生涯学習まちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱についてです。

このたび、団体から選出された委員の変更のため、委員の委嘱及び解嘱について、教育委員会の承認を求めるものです。

なお、任期につきましては、要綱第4条の規定により委嘱日から令和6年3月31日までとなります。

説明は以上です。

**教育長 南 順子**

では、議案第41号について質疑等があれば承りたいと思います。

特にないようですので、議案第41号の質疑は終了させていただきます。

お諮りいたします。

議案第41号、美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱について、説明のとおり御承認いただけますでしょうか。

御承認いただけます方は、挙手をお願いいたします。

**<全委員挙手>**

**教育長 南 順子**

はい、ありがとうございました。

全員賛成ということで承認されました。

**協議報告等**

**教育長 南 順子**

続きまして、協議報告等に移りたいと思います。

初めに各課からの報告をお願いいたします。

教育総務課、岡崎課長。

**教育総務課長 岡崎 輝義**

それでは教育総務課から、6月定例議会につきまして報告をさせていただきます。

まず（１）で6月定例議会提出議案4議案についてでございます。

6月定例議会に議案第55号から議案第58号の議案を提出し、6月13日に可決されましたので報告をさせていただきます。

これらの議案につきましては、美祢市学校給食センター建設事業に関する工事の請負契約の締結に係る議案3件と、厨房設備機器の財産の取得に係る議案1件でございます。

工事の請負契約の締結につきましては、地方自治法第96条第1項第5号の規定、財産の取得につきましては、美祢市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第3条の規定により、市議会の議決を求めたものです。

まず、議案第55号は、美祢市学校給食センター建設建築主体工事の請負契約の締結についてです。

こちらは去る5月25日、建設主体工事の入札を執行した結果、美祢市学校給食センター建設建築主体工事、高山産業西田産業特定建設工事共同企業体が5億3,658万円で落札したため、建築主体工事の請負契約を締結することについて市議会の議決を求めたものです。

議案第56号は、美祢市学校給食センター建設機械設備工事の請負契約の締結についてです。

これは去る5月25日、機械設備工事の入札を執行した結果、美祢市学校給食センター建設機械設備工事、中電工林電気特定建設工事共同企業体が3億1,449万円で落札したため、機械設備工事の請負契約を締結することについて、市議会の議決を求めたものです。

議案第57号は、美祢市学校給食センター建設電気設備工事の請負契約の締結についてです。

これは、去る5月25日、電気設備工事の入札を執行した結果、美祢市学校給食センター建設電気設備工事、中電工平和電業社特定建設工事共同企業体が1億7,270万円で落札したため、電気設備工事の請負契約を締結することについて、市議会の議決を求めたものです。

議案第58号は財産の取得についてです。

これは、美祢市学校給食センター建設に係る厨房設備機器を取得するにあたり、市議会の議決を求めたものです。

なお、こちらは去る5月30日、入札を執行した結果、株式会社中電工美祢営業所が4億8,400万円で落札しております。

以上で議案の提出の報告を終わります。

続きまして、一般質問について御報告させていただきます。

資料の3ページ目からの一般質問順序表を御覧ください。

12人の議員が一般質問され、教育委員会へは8人の議員から質問がありました。

た。

質問の趣旨は、左の順位欄で順位 1 番の荒山議員が 3 の中学校部活動の地域移行について、順位 3 番の田原議員が 3 の美祢市立博物館等施設将来構想について、順位 5 番の山下議員が 3 の子どもの夢がかなう美祢市を目指して、順位 6 番の猶野議員が 3 の旧嘉万小学校舎の活用策について、順位 8 番の杉山議員が 1 の美祢市内に残存する歴史的資料等の保管管理について、順位 10 番の岡山議員が 3 の多子世帯における小中学校給食費の無償化等に関して、順位 11 番の岡村議員が 1 の (3) の市立博物館の取扱いについて、順位 12 番の村田議員が、1 の (1) の閉校した小中学校を地域活性化に向けてどう活用するかという趣旨で質問をされております。

以上で報告を終わります。

### 教育長 南 順子

ただいまの報告について、御質問や御意見があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それではないようでしたら学校教育課お願いいたします。

はい、中島課長。

### 学校教育課長 中島 幹晃

(1) 学校の様子についてということで資料はございませんが、先ほど教育長の挨拶にもありましたように、善行表彰ということで、市長に報告することが出来ました。そのようなことを市内の各小・中学校にも、昨日の校長会でも紹介をされ、教育委員会に記者配布資料様式というものがございますので、各学校から学校教育課に、様式に打ち込んだものが送られてきますと、市内の各小・中学校にも、メールで情報提供いたしますし、県内の報道機関にも、一斉ファクスを送るシステムを持っておりますので、良い行いをどんどん、広めていけたらなと考えております。

また、コロナの状況ですが、先週、大嶺中学校の 2 年生で複数人コロナの感染が発生しておりますが、状況を注視しておりましたところ、その後の拡大は今のところ見られないということで、学級閉鎖等の措置までは至っておりません。

ただ、拡大のおそれがまだまだありますので、注視してまいりたいと思っておるところでございます。

それでは (2) 部活動改革についてでございますが、御手元の資料の 1 番下に「本市における学校部活動の地域移行に向けた方向性」というワンペーパー裏表印刷してある A 4、1 枚物の資料がございます。

そちら、真ん中あたりに表のようなものになっておるのが、改革のスケジュールになっておりまして、令和 4、5、6 年度が改革の推進期間、何とか令和 5 年、令和 6 年のうちに、部活動の地域移行、平日も休日も含めた完全移行の

準備を整えて、令和7年、少し色が濃くなっておる令和7年から、市内全域一斉に地域移行を、始めることが出来たらという計画でございますが、令和6年度の下のほうに書いておりますけれども、種目や学校の実情に応じて、平日の学校部活動の地域移行も進行するというので、令和6年度に前倒しで完全地域移行というのができる種目があればできる種目から始めていくというつもりで、今、各競技団体等と協議を進めているところでございます。

なお、令和7年度からの完全地域移行になったときの市教委が持っている地域クラブ活動のイメージでございますが、3番に簡単にまとめているところで

まず、1種目当たりの週当たりの活動、日数は3日以内を基本としたいなあということ掲げております。

これは、やはり生涯学習につなげる、それから子供が選択し、子供に選択肢を与える、そういうところを大切にしたいという思いからの3日間でございます。

勝利を目指す、あるいは、楽しくレクレーションそういう二項対立ではなく、子供たちが高校に行っても続けてやりたいことという生涯スポーツの観点、それから週3日であればあと2日ぐらいを、他のスポーツであったり文化活動であったりm i n e t oであったり、そういったものが選べる環境を、美祢の子供たちに準備したいということの意味でございます。

2番目に、1日の活動時間は平日2時間、休日は3時間、3つ目に、種目の実情により週当たりの活動日数を3日以上どうしてもしたいという場合は、それでも週2日以上以上の休養日を設けましょう。

そして、1週間の総活動時間が11時間を超えないものとしましょうという、ガイドラインを設けたいと考えています。

11という数字は、平日が4日間、1日2時間練習したとして、 $4 \times 2 = 8$ 時間、土曜日に3時間練習したとして、土曜日が3時間、8時間と足す3時間ということで、11時間を上限にしたいというガイドラインを美祢市としては、準備して今、整えているところでございます。

裏、簡単に申しますがそれに向けて今、各競技団体、連盟や協会、クラブ活動を地元でされている方と協議をしております。1番大きなのは、上から6番目5月30日火曜日に、令和5年度第1回美祢市部活動改革推進会議というのを、開きまして、方針の確認をしたところでございます。

また、教育委員会会議に進捗状況が御報告出来たらというふうに考えております。

最後(3)といたしまして、m i n e t o × S F C 合宿及び出張m i n e t o についてです。

お手元のパンフレットがm i n e t o 教育改革プロジェクトの慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスS F C が、秋吉台芸国際芸術村で開催いたします、中学生、高校生を対象とした合宿のチラシでございます。

大変いい内容で、今、一生懸命周知活動をしているところなのですが、今現在の申込み人数は市内の中・高生で3名となっておりますので、市近隣の高等学校等にも、このチラシをお配りして、生徒を募集しておるところでございます。

それから、左方を綴じております6月に慶應義塾大学SFCの長谷部准教授と学生が美祢市を実際に訪れて、各中学校、小学校は秋芳桂花小学校1校に出張mine-toという形で入り込みまして一緒にワークショップ等を行い、生徒たちの感想も中に載せておりますけれども、実際にたくさん大学生と話す、話せば話すほど、感想を多く書いてくれておるような様子が伺えます。

以上御報告でございます。

### **教育長 南 順子**

はい、ただいまの報告につきまして、御質問や御意見があればお願いしたいと思っております、今、たくさん資料が出ましたので少し目を通していただくために時間をとりたいと思っております。

### **教育長 南 順子**

はい、中島課長。

### **学校教育課長 中島 幹晃**

せっかくの機会ですので、最後申し上げた、出張mine-toについて簡単に補足をさせていただきます。

先ほどの出張mine-toの報告書でございますけれども、まず1日目は、秋芳桂花小学校に訪問をいたしました。

ちょっと秋芳中学校の日程が合いませんので、初めて小学校に入りました。

大変反応がよかったです。子供たちに、自分の未来の絵を描かせて、大学生とその絵をもとに、いろいろ意見交換をするというワークショップをいたしました。

次のページの2日目の大嶺中学校では、これは大嶺中学校が今取り組んでいるルールメイキング、要するに校則の見直し、この子供たちの議論に、大学生の多様な意見というのを反映させるという、学校のカリキュラムに大学生が参加するというような形で行うことが出来ました。

それから下、厚保中学校も毎年行われているあつマロンネットのジオカッションという、中学生と地域の皆様、保護者の皆様との熟議の事前学習ということで、今年は地域のお年寄りに中学生がどのような貢献ができるのかという事をディスカッションする、その事前にこういったことを話してみたいんだということをお大学生に聞いてもらったり、アドバイスをしてもらったりしたというようなことをいたしました。

それから、4日目と5日目は、美東中学校と伊佐中学校です。

美東中学校は、ちょうど長谷部葉子研究室の神奈川のゼミの日と重なりましたので実際の大学とオンラインで結び、美東中学校の3年生と、長谷部研のゼミ生がほぼ2対2ぐらいのオンラインで自分の現在や未来そういったものを簡単なイラストにして、そのイラストを説明することを通して自分を語る、そういったワークショップをいたしました。

伊佐中学校においても、これは、オンラインと実際の大学生と一緒に自分自身を自己分析するというような、自分を見つめるワークショップというのを、これはS F Cのメニューを行ったというようなことでございます。

以上です。

#### **教育長 南 順子**

詳しい説明をいただきましたけれども、何か御質問または御意見等があればお願いいたします。

はい、金子委員どうぞお願いします。

#### **教育長職務代理者 金子 明美**

日常生活では出会うことができない人たちと、新たな視点で考えるととてもいい機会になったのではないかと思います。

子供たちがどうだったのかなというのをお聞きしたいと思います。

#### **学校教育課長 中島 幹晃**

一番ですね、子供たちの反応がよかったのが、やはり美東中学校の子供たちが、大体男女ペアの2人組で向こうの大学生が、2人ぐらいっていうオンラインで、2対2で中学生がそれぞれ自分の未来とか、ちょっとイラストを書いて紹介しながら自分はこういうふうなことに興味があるんだということ、将来の夢なんかを語り合うっていうことをしたんですが、もう4人で1時間までいきませんが、時間を取ってしっかり深く話をしました。

そのあとの子供たちの反応が、やはり非常によかったですね。

すごくもう感謝してもしきれない、そういうようなこんな機会をもらって、とてもいい刺激になったとか、外からの刺激が大きな感動となって、とてもいい相乗効果だったんじゃないかなと感じています。

以上です。

#### **教育長 南 順子**

はい。よろしいですか。

どうぞ。

#### **教育長職務代理者 金子 明美**

新聞で先日m i n e t oについて大きく取上げられていました。

本当に、情報発信だったなというふうに思いました。

日頃、お子さんとかが学校に行っていない方も、新聞を通して、こんなことを今美祢市がしてるんだということを知る機会になって、よかったなというふうに思いました。

以上です。

## **教育長 南 順子**

ありがとうございます。

新聞の紹介もしていただきましてありがとうございました。

今日、中島課長が教育委員会のほうに持ってきてくれたんですけども、これカラーじゃなくて大変白黒で申し訳ないですけど、かなり大々的にm i n e t oのところ、好奇心と挑戦を含む若者をつくる地域塾ということで長谷部先生の顔入りで、どういう内容かということが非常に詳しく載っております。

また、御参考のために見ていただけたらというふうに思っております。

今日、宇野創生監が説明する予定でしたけど先ほどお話がありましたように、宇野創生監は、今のこのm i n e t oの合宿について、参加者が3名ということですので、近隣の市外の美祢とかかわりのある高校とかそういうところに、募集呼びかけに歩いております。

これもまた一つの情報発信ということで、少しでもこの美祢とよい関わりをもっていただけたらということで、今頑張ってくれております。

以上でございます。

何かほかに質問等がございましたら、お願い出来たらと思います。

よろしゅうございますでしょうか。

はい、それでは次に進ませていただきます。

生涯学習スポーツ推進課お願いいたします。

はい、野尻班長。

## **生涯学習スポーツ推進課長地域活動推進班長 野尻 登志枝**

生涯学習スポーツ推進課からは4点ほど報告いたします。

まず一点目は、美祢・山梨子ども交流事業につきましてです。

お手元のこちらのチラシを配布させていただいております。

こちらの資料につきましては、平成14年に秋吉台の研究で功績を残された山梨県出身の小澤儀明博士を縁として、山梨市の子供たちが旧秋芳町へ訪れたことから始まりました。

しかしながら、コロナ禍で令和元年を最後に、Z o o mによるオンライン形式は令和3年度、令和4年度はやりましたが、なかなか対面交流ができませんでした。

今年度4年ぶりに対面交流を再開いたします。

山梨市の子供たちが美祢市に来て色々交流をする予定です。

こちら、6月の中旬から募集しまして、先週締切だったんですが今の申し込み状況が6名です。

今お配りしたチラシが追加募集のチラシになります。

7月7日を期限といたしまして各小学校へ配布をいたしております。

続きまして(2)のMチャレ!についてでございます。

黄色いチラシを配布させていただいております。

こちらにつきましては、新規の令和5年度事業としまして普段の部活動とは異なる様々な文化やスポーツを気軽に体験できるイベントとして開催いたします。

対象がカルチャーとスポーツに分かれていまして、カルチャーは小学校5年生6年生、あとは中学生、スポーツにつきましては中学生を対象としております。

こちらにつきましても先週金曜日を締切としておりまして、申し込み状況がカルチャーが12名、スポーツが6名となっております。

こちらにつきましても、当初の申込条件が3日間全てを受けることとしていたのですが、保護者の方に御意見を聞くと、2日なら参加できるのだけどという御意見等ございましたので、申込み条件を1日単位に変更しまして、再度追加募集をかけております。

こちらにつきましても、7月7日金曜日を申込み期限にしておりまして既に小中学校に配布をしております。

## 生涯学習スポーツ推進課人権教育班長 内山 知憲

mine to子供キャンプ事業について御説明します。

昨年度、小学校3年生から6年生を対象にした、自己決定をテーマとしたmine to子供キャンプですけれども、本年度も実施いたします。

資料等はすみません準備をしておりますませんが、昨年と同様に7月25日火曜日から7月28日金曜日までの3泊4日、秋吉台家族旅行村及び景清洞を活動場所として実施をいたします。

5月下旬に募集チラシを小学校3年生から6年生全児童に配布しまして、6月5日から6月16日まで募集を行いましたところ、42名の応募がありました。

うち、昨年度の参加者が12名ありまして、これは募集のチラシに掲載しておりましたが、今年度キャンプを経験していない児童を優先して、参加してもらおうということにしておりましたので、未経験者の30名をそのまま今年度のキャンプ参加者ということで決定し、申込み者に通知をしております。

そのほかのスタッフを市内の小学校、それから公設塾mine toに依頼したところ小学校教諭3名、それから小学校の養護教諭2名、そして公設塾のスタッフが1名、さらにジオパーク推進課から1名、私と、それから、宇野創生監、加えて12名というスタッフでキャンプを実施してまいります。

プログラムにつきましては、昨年と同様、ビバークや洞窟体験、登山を予定しております。

また、活動の前後に行うビーイングという話し合い活動、グループをよりよくしていくための話し合い活動、このビーイングについてもキャンプを通して実施する予定としています。

また、事業が終わりましたら皆様に御報告したいと思います。

#### **生涯学習スポーツ推進課長地域活動推進班長 野尻 登志枝**

最後（４）です。大谷春樹選手の国際大会出場結果についてです。

美祢市のパラサイクリスト大谷春樹選手が、6月4日から10日、にフランスで開催されました国際大会、自動車競技におきまして60キロメートルロードレース、また10キロ個人タイムトライアルにおきまして、準優勝で二つの銀メダルを獲得されております。

こちらにつきましては、また日程を調整をしまして報告会の開催を予定しております。

以上です。

#### **教育長 南 順子**

それでは今生涯学習スポーツ推進課から4点ほど報告がございましたが、御質問御意見がありましたらお願いいたします。

交流事業Mチャレ！、キャンプ等についてはぜひ子供たちの参加をお願いしたいんですが、特にMチャレ！等につきましては、最初よりも、参加方法が少し変わったということで、参加しやすいように1日でもいいし2日でも3日でもということになっております。

また、お知り合いの方でもいらっしゃいましたら、ぜひお声をかけていただいて、とてもいい体験になりますのでお願い出来たらと思います。

子どもキャンプのほうは、定員はオーバーしているということなので、よろしいでしょうか。

じゃ、すみません。

続きまして次に行かせていただきます。

文化財保護課お願いいたします。

はい、神田課長。

#### **文化財保護課長 神田 高宏**

はい、それでは文化財保護課からは2点御報告させていただきます。

まず（1）令和5年度第1回特別天然記念物秋芳洞再生事業評価委員会について御報告いたします。

6月12日、令和5年度第1回特別天然記念物秋芳洞再生事業評価委員会が開催されました。

当日は、午前中は委員、国・県のオブザーバーと、秋芳洞内の施工箇所状況の確認、現地での意見交換を行いまして、午後評価委員会においてこれまでの経過、洞内の歩道の照明測定等の報告の後に、施工箇所の色の測定結果やコウモリ、ヨコエビ類の観測結果等について検証評価を行いました。

そして、今後の施工方法等について協議したところであります。

続きまして（2）令和5年度第1回美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会の開催についてであります。

来月、7月11日に秋吉台科学博物館において、令和5年度第1回美祢市立秋吉台科学博物館建設基本構想策定委員会を開催いたします。

今回は昨年度協議いたしました新たな博物館が目指す方向性を踏まえまして、ソフト面、ハード面から博物館の機能について協議する予定としております。

文化財保護課からは以上です。

#### **教育長 南 順子**

ただいまの御報告につきまして御質問御意見があればお願いいたします。

それではないようでしたら、続きまして世界ジオパーク推進課お願いいたします。

はい、神田課長。

#### **世界ジオパーク推進課長 神田 高宏**

はい、それでは、世界ジオパーク推進課から2点御報告いたします。

（1）ジオ防災イベントについてであります。

6月3日の土曜日に、美祢市消防本部におきましてジオ防災イベント、「シル・マモル・カンガエル 消防士になってみよう」というイベントを開催いたしました。

当日は晴天に恵まれ約80名の方が参加しました。

会場では福祉課による非常食の試食、総務課による段ボールベッドの体験、建設課によるハザードマップの確認など市役所の各課が連携いたしまして、それぞれの部局の防災減災分野を紹介いたしました。

また、消防本部の体験イベントでは、ロープ渡河による救助体験、放水体験もいたしまして参加者は一生懸命取り組んでおりました。

2つ目（2）ですが、ジオフェイス、2023についてであります。

来月7月22日の土曜日に秋吉台緑地公園、カルスター周辺におきまして、ジオフェイス2023を開催いたします。

当日は秋芳洞の未公開部分のジオツアー、また秋芳洞の照明を消した状態で  
行うツアー、これは「闇ロマン体験」というツアーになります。

また、トックトックを使ったジオツアー、神楽舞、これは美祢市内からは美  
東町の北河内神楽舞が参加される予定となっております。

また、阿東町嘉年の神楽舞で大蛇が出る派手な神楽舞、こういったものも上  
演予定としております。

そのほかに、飲食ブースやヨーヨー釣りなどの屋台を実施する予定としてお  
ります。

昨年も、たくさん多くの方が来て楽しめました。

今年度も、楽しいイベントにして、ジオパークの魅力を伝えていきたいと思  
っております。

ぜひ御来場いただけたらと思います。

ジオパーク推進課からは以上です。

## **教育委員からの提案及び意見**

### **教育長 南 順子**

はい、ただいまの報告について、御意見御質問があればお願いいたします。  
よろしいでしょうか。

それではないようでしたら7番目の教育委員の皆様方からの提案及び意見  
ということで、御意見、御提案を伺いたいと思います。

よろしいでしょうか。

全体を通してでも構いませんしもし何か今までの報告等で、これを聞いてみ  
たいということがございましたら、お願い出来たらと思います。

すみません。

どうぞはい山本委員お願いします。

### **委員 山本 亜由美**

美祢市の部活動の協議会をやっていると思うんですけど、関係者協議の中で指  
導者を見つけていくんですか。

### **教育長 南 順子**

はい、中島課長お願いいたします。

### **学校教育課長 中島 幹晃**

はい、ありがとうございます。

基本的には、受入れていただく団体です。

スポーツであれば大体バレーボール協会とか野球連盟とか、そういう既存の

組織がありますので個人の方に頼むというのは非常に難しいものがありますので、基本的にはそういう協会とか連盟とか、そこを軸にして今協議を進めています。

あとは、もう地域で、中学生を集めて例えばバレーボールなんかはですね、地域のバレーボール愛好家の方が、もう何年も美祿ヤングバレーボールチームっていうものをつくられて活動されている方がおられるんです。

これは数少ないんですけど美祿市では、そういうふうなもう既存の地道に活動されている方等も掘り起こして、連盟や協会の方と一緒に会議に来ていただいてどういうふうな指導チームがつかれるかっていうことを今協議しておるところです。

#### **教育長 南 順子**

よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

すみませんたくさんの方が盛りだくさんでございますけれども、何か、御質問がありましたら。

はい、山田委員お願いいたします。

#### **委員 山田 裕治**

コロナの事なんですけど、子どもがコロナに係った場合の対応状況はどのようになっているのでしょうか。

#### **学校教育課長 中島 幹晃**

はい、インフルエンザの対応と基本同じということになっておりまして、発症した翌日から5日間お休みということで対応しておるところです。

いわゆるコロナの最盛期にありました濃厚接触者というような概念はもうございません。

#### **委員 山田 裕治**

保健所に届け出るようなこともないと。

#### **学校教育課長 中島 幹晃**

ないです。

#### **教育長 南 順子**

はい、よろしいでしょうか。

はい、ほかに今日の議題等にもないことでも結構でございます。ぜひ聞いて

みたいことでもありましたらお願い出来たらと思います。

はい、山本委員お願いいたします。

#### **委員 山本 亜由美**

Mチャレ！なんですけど、もしチャレンジスポーツは中学生対象なんですけど、小学生まで対象を広げる可能性は出てきますか。

#### **生涯学習スポーツ推進課地域活動推進班長 野尻 登志枝**

ちょっとまだその辺りは検討はしていないんですが、カルチャーになぜ小学生5、6年生を入れたかというやっぱり体格の問題がないというか、何ですかね、カルチャーだったら小学生も入れても一緒に学べるんじゃないかということで、小学生を入れました。

ただちょっとスポーツに関してはやっぱり体格とかそういった問題があるので一応、小学生を対象とせず、中学生だけの対応にしております。

ただそういった御意見があったことも勘案してまた検討していきたいと思っております。

#### **教育長 南 順子**

はい、よろしいですかね。一応、日、Mチャレ！、再募集追加募集の期限が7月7日ということになっておりますので、またそこで人数の調整等いろいろ試してみて、対応等、余りにも少なかったら、でも、このたび今のような形で進めていけたらというふうに考えておりますが、はい、じゃ、よろしいでしょうか。

それでは8番目、7月の教育委員会会議の開催と事務局のほうに返したいと思っておりますのでお願いいたします。

#### **次回の教育委員会会議の開催予定**

##### **事務局長 千々松 雅幸**

次回の教育委員会会議でございますが、7月25日火曜日13時30分から、場所はここと同じ本庁3階委員会室で開催したいというふうに考えております。

なお8月以降の開催予定につきましては記載のとおりでございます。

以上になります。

#### **<全員了承>**

#### **閉会**

##### **事務局長 千々松 雅幸**

皆さん大変お疲れでございました。

以上をもちまして6月の定例教育委員会会議を終了させていただきたいと思えます。

どうも皆さんお疲れでございました。ありがとうございました。

**(午後2時30分終了)**

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成